

# ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2005年（平成17年）6月5日号 No. 1330

## 目次

●ロシアの携帯端末市場と日本メーカーの商機	坂口 泉 1
●エトセトラ	11
『ロシア技術ニュースレター』「特集：ロシアの冶金工業における新技術開発」	／11
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定	11
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	11

## ロシアの携帯端末市場と日本メーカーの商機

### はじめに

ロシアでは携帯電話加入者数が急増しており、それに呼応する形で携帯電話端末の販売台数も急激に伸びている。また、2004年以降、販売される端末の単価も上昇傾向にある。日本企業にとっても非常に注目すべき市場になりつつあるといえよう。ただ、2004年を例にとれば、同年中に携帯電話加入者数が約3,800万人増加したのに対し端末の販売台数は3,000万台強にすぎなかった（しかも、その40%がいわゆる買い替え需要だったといわれている）といった、日本人の常識から見れば不可解な現象が少なからず見聞される市場でもある。本稿では、そうしたことの背景にある事情なども含め、急成長するロシアの携帯電話端末市場の概況をご紹介します。

### 1. 携帯電話の普及率

IKSコンサルティング社によれば、2003年末で3,645万人であったロシアの携帯電話加入者数が、2004年末時点で7,436万人に達したとされている（第1表）。劇的なテンポで加入者数が伸びていると言えるが、最近になり、この数字の信憑性に疑問を投げかける声が大きくなってきている。モスクワ地域（モスクワ市、モスクワ州）で、携帯電話の普及率が2004年末に約99%に達し、2005年1月末にはついに100%を超えてしまったからだ。ちなみに、サンクトペ